

## 令和7(2025)年度 第2回柏崎市環境審議会 議事概要

市民生活部環境課環境政策係

このことについて以下のとおり報告します。

- 日時 令和7(2025)年11月7日(金) 13:30~15:30
- 会場 柏崎市役所 4階 4-3・4-4会議室
- 出席者
  - 委員 伊藤会長、田村委員、佐藤委員、徳永委員、蒼原委員、阿部委員、竹井委員、村山委員、宮田委員、迎田委員、若月委員、春川委員、今井委員(欠席委員:松澤委員)
  - 事務局 尾崎市民生活部長  
(環境課) 村田課長、今井課長代理、山田課長代理、江部係長、藤田係長、小川主任、前川非常勤
- 議事概要

	<p>1 開会</p> <p>2 審議会会長あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 柏崎市環境基本計画第3次計画 進行管理報告、柏崎市地球温暖化対策実行計画 進行管理報告、環境マネジメント(かしエコ)編進行管理報告について事務局が【資料1-1、資料1-2、資料1-3】に沿って説明した。</p>
委員	<p>・令和6(2024)年度の不法投棄が56件と例年に比べて極端に多かったが理由は何か。</p>
事務局	<p>・理由は不明であるが、令和6(2024)年度は市民の通報が多かった。</p>
委員	<p>・地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備の補助金申請件数は過去4年間0件である。総合体育館で地中熱空調設備を設置したようだが含まれていないのではないか。</p>
事務局	<p>・一般家庭への補助を対象としているため、公共施設等へ設置したものは除いている。</p>
委員	<p>・地中熱設備は高価だが故障が多い印象がある。市では地中熱設備をどのように考えているか?</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所や東中学校で取り入れている。故障などはなく、脱炭素に有効な手法の一つと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と今年のクリーンデーが雨のため市から中止の連絡があった。町内会によって雨天でも実施したり翌週に実施したりする場合があります、ばらつきがある。市の考えを教えてください。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンデーが雨天の場合の実施判断は、各町内会で決めている。市から中止のお願いをすることはない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンデーの収集運搬を行っているが、市は中止した町内会へ連絡し、中止後の予定を聞き取っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンデーの参加人数の実績には、翌週実施した人数が含まれているか。また、市の職員のクリーンデー参加率が低いので率先して参加してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌週実施した人数も含まれている。雨天だと参加人数が減る傾向にあるものの、コロナ終息後は徐々に回復している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業編の温室効果ガス削減目標の基準年度は平成25(2013)年となっているが、省エネに考慮して建てられた新庁舎建設後に基準を変更した方がよいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に基準年度が、平成25(2013)年に統一されていることを御理解願いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステム(かしエコ)では、認定機関などから追跡調査を定期的に受けているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前はエコアクション21に登録していたが、現在は独自で取組を行っており、第三者機関からの認証は受けていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前からグリーン購入はある。最近は消費者庁の「エシカル消費」により県や国は活動している。学校でのエシカル消費の活動はどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校も含めてグリーン購入法に基づいて活動している。エシカル消費については今後検討したい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟免許の支援について、新規に免許を取得する方は増えているか。</li> <li>・猟友会の年会費が高額のようなが補助はあるか。</li> <li>・猪の被害は公表されていないが、減っているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟免許新規取得人数は、令和5（2023）年度2名、令和6（2024）年度4名、令和7（2025）年度現在で2名です。わな猟は、令和5（2023）年度1名、令和6（2024）年度3名である。</li> <li>・猟友会会費など狩猟に係る経費が負担となっていることは承知しており、補助制度の創設について検討している。</li> <li>・電気柵の整備を行ったこともあり徐々に被害額は減ってきているものの捕獲頭数は変わらず、生息数は変わらないと思われる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊の目撃情報がある中で、親子森林ウォークや森林伐採見学の実施は危険ではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所管課ではクマ対策も考慮しながら実施する。また、猟友会の方から多くの罟を仕掛けていただいている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟するためには、銃の保管、事故への不安、経費負担などがあることを理解すべきである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習のためにも市内の学校全てに学校田があったほうがよいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての学校に学校田はない。校庭の畑での収穫体験や農家の協力により田での稲刈り等を行っている学校がある。</li> </ul> <p><b>（2）柏崎市地球温暖化対策実行計画改訂（案）について</b> 事務局が【資料2】に沿って説明した。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの焼却量(プラごみ)について、プラ製品を削減するためには、消費者がプラスチック製品を購入しないという考えが必要ではないか。</li> <li>・ペーパーレス化やA I化が進むことにより電気が必要になると考えられ、必ずしも省エネになるとは思わないがどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラごみの削減について環境学習で引き続き周知啓発に取り組んでいきたい。</li> <li>・ペーパーレス化やA I化は、国の目指す方向に準じて取組を進めたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育プログラムの実績が少ないが、どのようにプログラムを実施しているのか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7（2025）年度目標で31校とあるが、市内の小学校・中学校・高校・大学を全て含んでいるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの要望に応じて実施している。昨年から教育委員会と協力し、市内全小学生を対象に脱炭素に取り組む事業者を見学して学ぶ環境講座を実施している。その他にも大学生や高校生を対象にした講座も実施している。</li> <li>・小学校、中学校を対象としている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンセンター施設は現在建設中だが、どの部分を見学するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設事務所にて今までどおり施設見学を実施する。建設中の新ごみ処理場では施設見学専用の施設も建設予定である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会施設のLED化について、蛍光灯等が使用できるうちは進まないのではないか。令和12（2030）年度に全町内会施設への普及は難しいのではないか。</li> <li>・太陽光パネルの普及を進めているが、廃棄についての計画はあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED化の国目標が令和12（2030）年度までであり、これに連動して市も目標に掲げている。</li> <li>・太陽光パネルの普及が進んでいる太平洋側地域を参考に、廃棄について研究をしたい。国等には明確な廃棄計画は無いものの、市内には廃棄事業に意欲を見せている業者もいるようである。今後の国や先進市の取組に期待したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化ガス発電が令和9（2027）年度までで終了し、ごみ処理発電が令和11（2029）年度から始まる。いずれもごみ処理施設での発電であるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化ガスは浄化センターでの発電であり、令和9（2027）年度に運転を終了する見込みである。ごみ処理発電は新ごみ処理施設での発電である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車の中にはダンプトラック等もあると思うが、令和12（2030）年までに公用車18台を全て電気自動車にする計画は達成できるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課で所有している車両、除雪車等は除外し、市役所全体で共用する公用車を対象としている。電気自動車にはハイブリッド車も含まれており、令和12（2030）年度までに達成したい。</li> </ul>
	<p><b>（3）一般廃棄物処理基本計画の策定について</b> 事務局が【資料3-1】に沿って説明した。</p>

委員	・下水道管の劣化について対策は大丈夫か。
事務局	・下水道業務の所管である上下水道局へお問い合わせいただきたい。
	<b>4 その他</b>
委員	・令和9（2027）年度から製品プラスチックの資源化が新たに始まるとあるが、どのようなことか。
事務局	・現在粗大ごみとして回収しているプラスチック製衣装ケースをリサイクル回収したいと考えている。
委員	・指定ゴミ袋の年度別販売枚数を目標値として追加してほしい。
事務局	・指標を一人一日あたりのゴミの焼却量としているが、焼却量と販売枚数が結びつくようであれば検討し追加したい。
	<b>5 市民生活部長あいさつ</b>
	<b>6 閉会</b>
	以上